

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想例【国語総合④／話すこと・聞くこと】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

総合学科の2年生である。国語総合は、1年次に続いて週2単位で開設している。課題提出などは概ね良好であるが、語彙力に乏しく、特に「B書くこと」を苦手とする生徒が目立つ。1年次よりこれまで、折に触れ200字作文に取り組みさせてきた。「高校生活の抱負」「保育実習を終えて」「5年後の自分の姿」「小説『羅生門』における下人の行方」などを題材とし、「A話す・聞く」を意識したスピーチの実施と絡めて指導し、相手にわかりやすく伝えるための練習を重ねた。また、どのような題材で書くか考え、情報を収集する指導も繰り返してきた。そのため、「題材選定・取材・表現の工夫」については身に付いてきている。しかし一方で、文章の構成や適切な表現の仕方を考えて記述する能力については、まだ不十分な生徒が多い。本単元では特に、論述（スピーチ）の前段階の「構成」を意識して指導し、論理的思考力を育成したい。

2. 単元名

好きな色について、論理の構成や展開を工夫して意見を述べよう。（全4時間）

教材：原研哉『白』

※本単元は、同じ教材を用いて「C読むこと」指導事項イ「文章を読んで内容を的確にとらえる」を指導した後の複合単元である。

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	○語句の意味を正しく理解した上で、語彙を豊かにしている。
②思考・判断・表現	【話すこと・聞くこと】（論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる） ○好きな色を出発点に、キーワードを構造化することで、抽象的概念を視覚化している。 ○構成表には、視覚化した構造図を踏まえた論理的な説明を記述している。
③主体的に学習に取り組む態度	○対話を通して好きな色のイメージを広げ、構造図を精査しようとしている。 ○単元の学習を踏まえ、今後の生活の中で、意見を述べる際に論理の構成や展開の工夫を生かそうとしている。

4. 本時の目標

（略）

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い
あなたの好きな色のイメージは、どのような言葉で説明できるだろうか？ ー抽象的概念を視覚化し、構成と論拠に注意して意見を述べようー

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C
言葉の構造化に関する資料	言葉の構造化の具体例	原研哉『白』における言葉の構造化
想定される活動	想定される活動	想定される活動
言葉のつながり（①同義②対義③具体ー抽象④包摂）に着眼する視点を獲得。言葉を階層化、序列化することで、論理的な構造化が可能になることを理解する。	思考ツール（言語ツリー、ベン図、マインドマップなど）を用いた構造化の例を知り、イメージを持つ。	『白』におけるキーワードを抽出し、言葉のつながり（①同義②対義③具体ー抽象④包摂）に着眼して、構造を視覚化する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・材料A Bによって得た様々な視点に基づき、課題解決に向けた着眼点をグループで整理する。
- ・まずは課題文である『白』について、キーワードを書き出して構造化する。思考ツールの選択はグループの任意とする。

▶『白』のキーワードって「完成度」とか「不可逆性」とか……。▶「情報の仕上げ」はどうだろう。「情報の仕上げ」と「情報の無限の更新」を対で考えると良い気がするよ。▶「推敲」の例は、「情報の仕上げ」を前提とした人間の心理の具体で良いのかな。▶「諸芸術」の例も同様だと思うよ。▶その背景に「白という感受性」があるんだね。▶ここまでの内容を構造化してみよう。

- ・材料A～Cを参考にして、自分の好きな色からイメージできるキーワードを抽出し、構造化する。
- ・グループ内で紹介し合う。

▶自分は「赤」をテーマにするよ。今まで国語で読んだ教材の中で、印象に残る色が「赤」なんだよね。▶例えばどんな？▶『羅生門』で下人が佇んでいた柱はさ、「丹」が剥げてたよね。門の朱色っていうと、平安神宮が真っ先に思い浮かぶんだけど、それが剥げてるって、さびれた様子をはっきりと映像で想像することができるよね。▶そうだね。赤って、繁栄の象徴っていうことかなあ？▶ほかにもあるんじゃない？古典に火事を喜ぶ人が出てきたよね。▶ああ、絵描きの話、「絵仏師良秀」だ。あれも芥川によって小説化されているね。▶『羅生門』の赤と、「絵仏師良秀」の赤とでは、象徴しているものが違うよね。▶イメージを書き出して整理してみよう！

- ・再度、自分の案を精査する。
- ・構成表を作成する。（その後、最後にスピーチを行う。）
（他者の考えに触れながら、個人の考えが深まったり、広がったりする。多様な見方や考え方を比較・統合することで、それぞれ自分の考えがさらに確かなものになるよう、論述（スピーチ）の前段階として、スピーチの基となる構成表を作成する。）

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

〔構成表の例〕「赤」をテーマに

第1段落	「赤」のイメージを定義する。	キーワードは「際立つ」。他を寄せ付けない孤高なものを象徴する彩色ととらえる。
第2段落	既習の教材から引用して定義を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・『羅生門』…丹塗りの剥げた円柱 ⇒平安末期の荒廃の様子が描かれる場面。ここでの「丹」は、平安朝全盛時代の象徴である。 ・「絵仏師良秀」（『今昔物語集』）…不動尊の火炎の描写 ⇒ここで際立たせているのは、絵仏師としての専門性であり、芸術至上主義である。
第3段落	補完とまとめ	王安石「万緑叢中紅一点」を例にとり、キーワード「際立つ」について改めてまとめる。